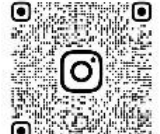


# ゆうりん



公式SNSも、ぜひチェックしてみてください♪



@AMASYAKYO.9043

「尼社協ほっと館」前でホッとひと息、来館者を迎えるミニ花壇。いっしょに育てているボランティアの方からのコメントです^o^

ボランティアセンターから一緒にやって欲しいと声をかけられ、アサガオとひまわりを種から育てることになりました。当初は、花を植えるのは初めてだったので、芽が出るのか、花が咲くのか心配でした。そのため、センターが休館している土日にも水やりに来ました。きれいな花が咲き、一安心しています。これをきっかけに、他のボランティアにも参加してみたいです。(ボランティア・N)



参加無料

## 視覚障害者について知ろう！



### 9.16月(祝日)

子ども若者応援補助金を頂いて活動しています

時間 13:00～17:00

募集人数 20人程度

会場 尼崎市立武庫西生涯学習プラザ

意義 視覚障害の方が身近な存在であることを理解出来る

内容 ・視覚障害者の方とクイズ形式でお話！

- ・白杖体験
- ・スイカ割り
- ・フルーツポンチ作り

持ち物 水筒



←ご予約はこちらのQRコードからよろしくお願ひします！！

締切日時：9月9日(月)

## “ボランティア”の現場から。⑤

今回は、県立武庫荘総合高等学校で活動する高校生に寄稿いただきました！市内の高校生、地域のいろんな場で活躍中です！

←こちらのイベントは、完全予約制(小学生対象)ということですよ！



こんにちは！ねねファントです！私たちは視覚障害者の方についての知識をより多くの人に知ってもらうために、小学生に向けて視覚障害者の方と交流でき、視覚障害者の方の理解を深めてもらうイベントを行います！

このイベントを考えたきっかけは、最近若者を中心として、視覚障害者の方への認識などが希薄になってきていると感じたのと、小学生のような小さい頃から知識を持っていることで将来成長した際に視覚障害者の方が困る時などに手助けする勇気に繋がると思ったからです！

イベントは9月16日(月・敬老の日)13時から、武庫西生涯学習プラザで行います！主な内容は、①クイズ形式で視覚障害についての知識を深める②実際に白杖体験をする③スイカ割りとフルーツポンチ作りをしながら交流をするなどです！

最後に、視覚障害というのは自分や家族、周りの友達がいっなくなってもおかしくないものなので、このイベントを通してしっかりと知識を付けて視覚障害者の方の目線に立って考えて、視覚障害者の方は身近な存在であるということを知って欲しいと思っているので、少しでも興味があればぜひ来てください！！

## つくろー、干支にんぎょう！ やってみよー、手話！



ねんどで人形づくり！講師の工作好きの縄さんとは、手話や筆談でコミュニケーションをとりながら、作りたいものをこねこね、貼り貼り。縄さんからは「好きなものを作ったらいいよ」ということで、干支を作ったのは数人でしたが、



それぞれ好きなキャラクターや、干支が同じでもいろんな工夫がみられる、じぶんだけの作品が完成！小学生は恥ずかしがりながらも「手話をたくさん覚えて話をしたい」「なわさんたちにあうとあいさつをぜったいにします」と、手話や筆談等でじぶんの作品について伝えようとしていました。

情報伝達のお手伝いには、ボラセン登録グループ「手話サークルふれあい」「手話サークルかけはし」のみなさんが、参加者の見守り含めて、サポートしてくれました！また、カメラ撮影のボランティアの方にも協力いただきました！ありがとうございます！

★がちボラクイズ★ 「(2024年5月未現在)ボラセンに登録されているグループ数は」 ① 157 ② 180 ③ 211 \*答えは来月号で!

【8月号の答え】「ボラセンのコーディネーター、今、4代目!」

尼社協のボラセンが始まってから約50年を迎えようとしていますが、コーディネーターはなんと4代目(実際は3人)! 全員の名前や顔をご存知の方もいらっしゃるかと...様々な時代の「ボランティア」実践をみてきたコーディネーターのインタビュー、今後、こちらでも掲載していきたいと考えて中です!

# ぼちボラの会

今月は

9月13日(金)10時から11時30分

尼社協ほっと館1階ロビー

- 当日参加できます(申込みなし)
- いつ来ても、いつ帰っても大丈夫です
- 持ちものは、ありません
- エコ封筒づくりや切手整理などをします
- ボランティアのご相談も、お気軽に^o^

\*10月は、15日(火)の予定です!

8月から「尼社協」に社会福祉士の実習へ来ている学生3人からの感想!



ぼちボラに初めて参加して、高齢者と障がい者の方が一緒に作業しながら楽しく世間話をしている様子がすごく新鮮に感じました。私の話を親身に聞いてくださったり、案を出してくださったりなどの話で盛り上がる話で時間があっという間に過ぎてまた参加してみたいです。(清水)

8月は小学生も参加してくれました! 小学校にもボランティア部? あったらいいねー

ボランティアの方々から積極的にお話してくださり、作業をしながらたくさんコミュニケーションをとることができた。これまでしてきたボランティアの経験も聞くことができ、貴重な交流の機会になった。(今田)

武庫之荘に住んでいる方だけでなく、少し遠い地域から来られていて、高齢者の方と子供が協力しながら話している姿を見て、こういった所で多世代で交流できるんだと感じました。(柳)



防災月間・特集① 前号のがちボラクイズ(本紙上段)のとおり、ボラセンのコーディネーターはこれまで3人! その初代で、20年以上、尼社協で働かれた寺本美津枝さんに、震災当時のボラセンの動きについて話を聴いてきました。

コーディネーター  
ひとりごと。  
番外編

## 「安もんの福祉にならんように」

東難波町にボラセンがあった時代、入職の数年後「阪神淡路大震災」が起き、通勤する道も起伏が激しく、液状化が起きている地域もあり、行政も社協職員も混乱する中でのコーディネーター業務だったようです。当時、地域の高齢者の状況は、介護保険事業所をもっていた社協職員等が

よく知っており、その中で、ボラセンは何ができるか考え、高齢者施設を中心としたニーズ調査にまわり、不足する物資の把握、様々なグループへの活動依頼等、地域で活動する団体や個人ボランティア一人ひとりの顔の見える繋がりをもとに、「点を線でつなぐような活動」の日々だったとのこと。また、仮設住宅が建つときには、住民の憩いの場「ふれあいセンター」ができ、ひとり暮らしの高齢者を中心に「食べる」ことへの関心を高め、安否確認も含めた料理教室等に、多くのボランティアが関わっていたそうです。約20年の業務の中で、今も交流のあるボランティアの方もおられ、まさに「人とのつながりの仕事」ですね。

一方、当時も今も「ボランティア=安もんの福祉」のように扱われる風潮に、「ボランティアはだれかの自立を助ける活動でもあり、都合よくタダで働いてくれる人のようには扱われてほしくない」とも。

「時間がある、奇様な」人だけがボランティアをするんでしょ? とよくいわれますが、しんどいことも含め、いろんな経験、いろんなまなざしを受けてきた人も、ボランティアの場では、また新たな一面がみえ、活躍されている姿をたくさん見てきた寺本さん。一人ひとりがもっている「ちから」が、だれかの暮らしを支え、またその方が、他の方の暮らしを支えていく、そういう「つながり」を、ボラセンコーディネーターは担っていきたい! と感じるインタビューでした。



【つづける、つながる、「ちから」になる。】 -順不同・敬称略- ヘルマークの収集もありがとうございます!

【切手(整理含む)】

千代木園/社会福祉士河本健二事務所/がちとまとちゃん/  
手話サークルふれあい/手話サークルかけはし/グループ  
ま・どんな/尼崎マジック愛好会

【切手&プルタブ】

演劇グループ淡海プロデュース/花道会/ハピネス/NPO  
法人神戸救急グループ/大源製薬(株)

【プルタブ】

なかよし食堂/南武庫之荘はなみずき会/塚口第3住宅/中山  
秀男/子ども食堂晴れるや/次屋東福祉協会/水堂三和福祉  
協会/水堂三和町長寿会/ぴいす/阪神尼崎ラジオ体操会/沢本  
仁一郎/南野秀明/福喜園/武庫民協第3ブロックB/川崎和恵/  
尼崎クリーニング組合/小林玲子/浦富健二

【発行】 尼崎市社会福祉協議会ボランティアセンター 〒661-0033 尼崎市南武庫之荘3-24-5尼社協ほっと館3階

電話 06-4950-8863(平日9時~17時)/ファクシミリ 06-4950-8913/メール amavc@dream.ocn.ne.jp

★「ゆうりん」をメール配信で受け取りたい方は、メールにてご連絡ください。

